

帝京大学SoTLシンポジウム2020

大学授業を探求する～授業が面白くなるSoTL～

新型コロナウイルス感染拡大の脅威の中、世界中の高等教育機関においてポストコロナ、ウィズコロナを見据えた新たな教育のあり方の模索が続いています。今ほど教育や大学授業について目が向けられ、学内が団結し、同じ課題に向かって進んでいる状況は無いのではないのでしょうか。遠隔授業やハイブリッド型授業など、新たな授業スタイルの開発が専門領域を越えて加速している今だからこそ、「大学授業を探求すること」についてあらためて考える機会が必要であるように思います。

本シンポジウムでは、大学授業を研究対象とするSoTL (Scholarship of Teaching and Learning) をテーマに、2名の講師による講演と2名の教員による事例発表を行い、日本の大学における授業研究の可能性や課題について考えます。

■ 日 時 2020年10月17日(土)10時～12時半

■ 実施方法 オンライン (Zoom Webinar)

■ 次 第

開会挨拶 沖永 佳史 帝京大学理事長・学長

講演 1 今なぜSoTLなのか：
日本の大学における可能性と課題

飯吉 透 京都大学高等教育研究開発推進センター長・教授

講演 2 大学だからこそその授業研究のススメ
－学生の学びを中心に－

森 朋子 桐蔭横浜大学 副学長、教育研究開発機構 教授

事例発表1 薬学卒業研究における
調べる力、考える力、プレゼン力向上のための評価尺度開発

黄倉 崇 帝京大学薬学部製剤学研究室 教授

事例発表2 主体的な学修に寄与するスポーツ方法実習(水泳)における
ICT利活用研究

大熊 誠二 帝京大学医療技術学部スポーツ医療学科 助教

■ 申込方法 以下のサイトからお申し込みください。

〈 <https://ctl.teikyo.jp/fd/forum/2020-02/> 〉

■ 申込締切 2020年10月14日(水)